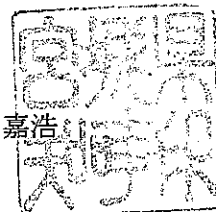


(別紙様式2)

医療第576号
平成26年7月15日

厚生労働大臣 殿

宮城県知事 村井 嘉浩



地域医療再生基金管理運営要領に基づく平成25年度事業実施状況報告について

1 基金保管実績

| 基金の保有区分 | 年度当初保管額 (A) | 年度内異動額 (B) | 年度末保管額 (A-B) |
|------------|------------------|--------------------|------------------|
| H21年度国補正 | 1,947,900,966 円 | 円 | 311,978,345 円 |
| (一般財源繰入) | 円 | 2,593,058 円 | |
| (取り崩し額) | 円 | ▲ 1,638,515,679 円 | |
| H22年度国補正 | 9,161,712,004 円 | 円 | 6,752,165,522 円 |
| (取り崩し額) | 円 | ▲ 2,409,546,482 円 | |
| H23年度国3次補正 | 36,576,065,458 円 | 円 | 34,497,485,859 円 |
| (取り崩し額) | 円 | ▲ 2,078,579,599 円 | |
| H24年度復興予備費 | 13,500,000,000 円 | 円 | 5,984,267,504 円 |
| (取り崩し額) | 円 | ▲ 7,515,732,496 円 | |
| H24年度国補正 | 0 円 | 円 | 1,095,856,184 円 |
| (交付金) | 円 | 1,500,000,000 円 | |
| (取り崩し額) | 円 | ▲ 404,143,816 円 | |
| 合計額 | 61,185,678,428 円 | ▲ 13,639,781,198 円 | 48,641,753,414 円 |

一般財源繰入は繰越事業の実績確定に伴う不用額や補助金返納金を積み戻したものの。

2 基金運用実績

| 基金の保有区分 | 利息額 | 差益額 |
|------------|--------------|-----|
| H21年度国補正 | 1,909,375 円 | 円 |
| H22年度国補正 | 9,122,089 円 | 円 |
| H23年度国3次補正 | 46,918,601 円 | 円 |
| H24年度復興予備費 | 11,957,562 円 | 円 |
| H24年度国補正 | 551,512 円 | 円 |
| 合計額 | 70,459,139 円 | 円 |

3 基金事業実施状況（宮城県地域医療再生計画）

(1)平成21年度交付要綱第4の別表の地域(東北医療圏)
 (7)事業実績報告

(単位:円)

| 地域医療再生計画 | 事業者名(施設名等) (開設者名を含む) | 平成25年度実施事業内容 | 平成25年度 事業予定額 (計画時) | 平成25年度事業費 | | |
|----------------------------|-------------------------|------------------------------------|--------------------------|---------------|-----------|---------------|
| | | | | 都道府県助成額 | 再生基金充当額 | 事業者負担額 |
| ①当該地域における事業 | | | | | | |
| 救急センター整備 | 登米市 | 登米市民病院(旧佐沼病院)の救急センター整備。 | 0 | 151,184,163 | 0 | 151,184,163 |
| 救命救急センター運営費負担金 | 登米市 | 大崎市民病院に対する救命救急センター運営費負担。 | 13,500,000 | 28,573,000 | 0 | 103,000 |
| 救急医療機器整備 | 栗原市 | 栗原中央病院の設備整備。 | 0 | 13,524,000 | 0 | 13,524,000 |
| 救急医療機器整備 | 大崎市 | 大崎市民病院の救急医療機器整備。 | 350,000,000 | 350,000,000 | 0 | 350,000,000 |
| 周産期医療機器整備 | 大崎市 | 大崎市民病院周産期医療機器整備。 | 150,000,000 | 150,000,000 | 0 | 150,000,000 |
| リハビリテーション訓練室等整備 | 栗原市 | 栗原中央病院の回復期リハビリテーション訓練室等整備。 | 0 | 26,909,400 | 0 | 26,909,400 |
| 登米市訪問看護ステーション設備整備 | 登米市 | 登米市訪問看護等在宅医療拡充に伴う車両整備。 | 3,500,000 | 3,479,039 | 0 | 2,868,039 |
| 院内保育所運営等 | 登米市 | 登米市民病院(旧佐沼病院)院内保育所運営等負担。 | 10,500,000 | 1,952,720 | 0 | 606,720 |
| 医師事務作業補助者雇用等 | 登米市 | 登米市民病院(旧佐沼病院)の医師事務作業補助者の育成。 | 3,200,000 | 3,737,272 | 0 | 1,376,272 |
| 院内保育所運営等 | 栗原市 | 栗原中央病院院内保育所運営等負担。 | 28,200,000 | 434,750 | 0 | 218,750 |
| 看護学生修学資金貸付 | 栗原市 | 栗原市の看護学生修学資金貸付 | 0 | 3,600,000 | 0 | 3,600,000 |
| 院内保育所運営等 | 大崎市 | 大崎市民病院院内保育所運営等負担。 | 0 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 |
| 医療従事者の確保・就労環境整備 | 大崎市 | 大崎医療圏における看護師確保対策 | 0 | 5,000,000 | 0 | 5,000,000 |
| 診療所新築 | 登米市 | 上沼診療所の新築整備 | 0 | 90,219,063 | 0 | 90,219,063 |
| 診療所設備整備 | 登米市 | 上沼診療所の設備整備 | 0 | 14,153,000 | 0 | 14,153,000 |
| 人口透析集約化対応施設設備整備 | 登米市 | よねやま病院の設備整備 | 0 | 49,392,000 | 0 | 48,200,000 |
| 地域医療連携センター設置及び地域医療連携センター整備 | 登米市 | 登米市民病院(旧佐沼病院)地域医療連携センターの整備 | 15,000,000 | 134,460,397 | 0 | 123,954,397 |
| 患者輸送バス運営 | 登米市 | 患者輸送バスの運営負担。 | 6,000,000 | 1,996,163 | 0 | 1,996,163 |
| ②都道府県単位の事業 | | | | | | |
| 宮城県医師育成機構の設置・運営 | 東北大学、県医師会等 | 医師の循環的研修体制の構築等 | 24,915,000 | 37,814,960 | 8,871,000 | 11,977,960 |
| 救急・周産期・感染症医療学講座等設置 | 東北大学 | 救急・周産期・感染症の専門医の養成等のため、東北大学に寄附講座を設置 | 0 | 60,000,000 | 0 | 60,000,000 |
| 医学生を対象とする奨学金の拡充 | 宮城県 | 医学生に対する修学資金の貸付 | 95,400,000 | 69,288,360 | 0 | 59,288,360 |
| 医師を志す高校生支援 | 宮城県 | 宮城の医師として活躍する志を持った生徒の育成。 | 500,000 | 933,470 | 0 | 933,470 |
| 医師等の救急医療対応力の向上を図るための研修の実施 | 宮城県 | 医師等の救急医療対応力の向上を図るための研修 | 1,000,000 | 997,500 | 0 | 997,500 |
| DMAT整備 | 宮城県 | 災害拠点病院のDMAT保有に伴う研修受講等。 | 0 | 63,510,524 | 0 | 63,510,524 |
| 合計 | | | 701,715,000 | 1,264,159,781 | 8,871,000 | 1,193,620,781 |

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- 登米市民病院救急外来棟整備に係る経費を補助し、二次救急医療体制の充実強化の取組を実施した。(平成25年6月24日完成、平成25年7月1日供用開始)
- 大崎市民病院に対する救命救急センター運営費負担を実施することで、3次救急医療機関との連携強化につながり、地域の医療提供体制の確保が図られた。
- 栗原中央病院の救急医療機器を整備し、地域の2次救急体制の強化につながり、県北地域内での医療提供体制の完結及び効率化が図られる。
- 大崎市民病院の救急医療機器を整備し、地域の2次救急体制の強化につながり、県北地域内での医療提供体制の完結及び効率化が図られる。
- 大崎市民病院の回復期医療機器を整備し、地域の回復期医療体制の強化につながり、県北地域内での医療提供体制の完結及び効率化が図られる。
- 県北地域で回復期リハビリテーション病棟を設置する医療機関は大崎市民病院鳴子温泉分院のみであったため、急性期を過ぎた患者が引き継ぎ適切な医療を受けられる体制を構築すべく、栗原中央病院に過渡的看護センターバスエアの回復期リハビリテーションに必要機器を整備し、栗原医療圏におけるリハビリテーション医療の提供体制整備が図られた。
- 訪問看護ステーション設備整備事業は、登米市訪問看護等在宅医療拡充に伴う訪問車両導入に係る経費を補助し、登米医療圏における在宅医療の充実強化の取組を実施した。
- 対象女性医師のニーズ等から医師招聘、招聘時における環境整備、ベビーシッター等の確保、研修等参加などを実施し、医療従事者の定着を図る取り組みを実施した。
- 医師事務作業補助者の育成を通じ、勤務医の過重労働の解消及び負担軽減という課題解決のための事業を展開した。
- 栗原中央病院において、女性医師等の働きやすい環境を整備し、離職防止・復職支援のための取り組みを実施した。
- 震災後さらに医療従事者の確保という課題が深刻となり、少しでも多くの医療従事者の確保が図れるよう看護学生への修学資金貸付を拡充して事業を実施した。
- 大崎市民病院において、女性医師等の働きやすい環境を整備し、離職防止・復職支援のための取り組みを実施した。
- 県北地域の人口40万人当たりの医師数、就業看護師数及び就業助産師数は、県や全国の値と比べて大幅に少なく、これら医療従事者の確保は喫緊に対応すべき深刻な課題であるため、確保対策に資する取り組みを拡充実施した。
- 上沼診療所の新築整備を実施し、登米医療圏における効率的な医療提供体制の構築を図った。
- 上沼診療所の設備整備を実施し、登米医療圏における効率的な医療提供体制の構築を図った。
- 東日本大震災を踏まえ、災害発生時にも安定した医療の提供が必要であることから、米山病院に非常用発電設備を整備し、地域医療連携体制の構築強化を図った。
- 登米市民病院地域医療連携支援センター整備に係る経費を補助し、登米医療圏における効率的な医療提供体制強化のための取組を実施した。
- 患者輸送バス運営事業は、よねやま診療所及び豊里病院における人工透析患者の輸送のためのバス運行に係る経費を補助し、登米医療圏における効率的な医療提供体制の構築に向けた取組を実施した。
- 宮城県医師育成機構の設置・運営事業は、東北大学病院に宮城県医師育成機構運営業務を委託等し、本県における医師の招聘・育成・定着及び東日本大震災により被災した医療従事者の流出防止等へ向けた取組を実施した。
- 救急・周産期・感染症等の専門分野の研究及び専門医の養成等を担う寄附講座の設置事業は、緊急に体制の整備が求められている周産期及び感染症の分野において、大学における人材育成機能の強化を図るとともに、県内への医師配置を推進するため、東北大学に寄附講座を設置した。
- 医学生を対象とする奨学金の拡充事業は、将来、医師として知事が指定する自治体病院等で勤務する意向を有する大学生等(東北大学42名、一般校6名)に対し、修学資金等の貸付を実施した。
- 医学部体験入学、医師講演会、病院見学会、医学部入試対策講座を実施しており、県内各高校から毎年延べ人数にして450名程度の参加がある。本県における医学部進学者数の増加が期待でき、医学生修学資金貸付事業等への誘導も図られる。
- 全ての災害拠点病院において、平成25年度までにDMATを保有することになったことに伴い、新たにDMATを整備する災害拠点病院に対し、研修受講などの経費に係る補助を実施した。

(2)平成21年度交付要綱第4の別表の地域(県南医療圏)

(ア)事業実績報告

(単位:円)

| 地域医療再生計画 | 事業者名(施設名等 (開設者名を含む)) | 平成25年度実施事業内容 | 平成25年度 事業予定額 (計画時) | 平成25年度事業費 | | |
|-------------------------------|-------------------------|---|--------------------------|---------------|---------------|-------------|
| | | | | 都道府県助成額 | 再生基金充当額 | 事業者負担額 |
| ①当該地域における事業 | | | | | | |
| 地域救命救急センターの設置 | 大河原町外1市2町 保健医療組合 | 地域救命救急センター棟建設。 | 0 | 183,703,000 | 0 | 183,703,000 |
| 24時間院内保育事業の運営 | 大河原町外1市3町 保健医療組合 | 24時間保育事業の運営。 | 80,000,000 | 20,888,000 | 0 | 20,888,000 |
| 回復期リハビリテーション病棟の運営に必要な医療従事者の確保 | 白石市外二町組合 | 回復期リハビリ病棟の運営に要する医療従事者の確保、病棟浴室の改修整備。 | 125,409,000 | 191,818,000 | 0 | 63,750,000 |
| 呼吸器・感染症治療機能の強化 | 白石市外二町組合 | 新型インフルエンザ患者の受入対応のため、人工呼吸器等の設備整備。 | 0 | 52,407,500 | 0 | 26,407,500 |
| 平日夜間の初期救急外来の開設 | 岩沼市 | 平日夜間の初期救急外来の運営。 | 0 | 26,604,568 | 0 | 20,151,568 |
| ②都道府県単位の事業 | | | | | | |
| 地域医療研修センター整備・運営支援事業 | 東北大学 | 東北大学での地域開放型医学研修施設の整備・運営。 | 13,750,000 | 18,641,144 | 0 | 13,981,144 |
| 地域医療を志す医学生ネットワーク構築 | 宮城県 | 自治医科大学で育成している医学生や奨学金受給医学生が本県の地域医療への理解を深めるため、各施設の壁を越えた医学生のネットワーク組織を設置。 | 500,000 | 711,654 | 0 | 711,654 |
| 女性医師支援事業 | 宮城県 | 女性医師に対する保育・育児支援等に係る委託事業。 | 12,500,000 | 6,902,896 | 0 | 6,902,896 |
| 看護師確保対策 | 宮城県 | 認定看護師課程に派遣している医療機関への補助等。 | 1,000,000 | 2,700,000 | 0 | 2,700,000 |
| 緊急看護師確保対策 | 宮城県 | 認定看護師課程に派遣している医療機関への補助等。 | 0 | 4,778,000 | 0 | 4,778,000 |
| 救急患者退院コーディネーター事業 | 宮城県 | 救急患者退院コーディネーター等の配置。 | 7,200,000 | 7,140,000 | 0 | 5,875,000 |
| 周産期医療体制の充実・強化 | 仙台赤十字病院等 | 地域周産期母子支援センター機能強化のための施設整備への補助、コーディネーターの配置や救急隊員への講習委託、極低出生体重児支援センター運営に対する補助。 | 2,001,472,000 | 1,999,064,700 | 1,873,771,000 | 121,993,700 |
| 在宅医療の推進事業 | 県歯科医師会等 | 訪問歯科診療の拠点施設整備及び調整等無償調剤を行うための研修会などの開催。 | 5,584,000 | 32,296,429 | 0 | 32,296,429 |
| 宮城県立がんセンターの機能強化 | 宮城県 | 宮城県立がんセンターに高度な放射線治療装置を整備。 | 0 | 40,000,000 | 0 | 40,000,000 |
| ヘリポートの整備 | 大河原町外1市2町 保健医療組合 | みやぎ県南中核病院におけるヘリコプター場外着陸場(災害・救急活動用ヘリポート)の整備 | 0 | 13,034,000 | 0 | 13,034,000 |
| DMAT整備 | 宮城県 | 災害拠点病院のDMAT保有に伴う研修受講等。 | 0 | 37,062,240 | 0 | 37,062,240 |
| 計画の策定及び進行管理に要する経費 | 宮城県 | 地域医療推進委員会開催経費及び事務費。 | 600,000 | 584,327 | 0 | 584,327 |
| 合計 | | | 2,248,015,000 | 2,638,336,458 | 1,873,771,000 | 594,819,458 |
| | | | | | | 169,746,000 |

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- 地域救命救急センターの設置事業は、地域救命救急センター棟建設に係る経費を補助し、仙南医療圏における二次救急医療の集約化や機能向上による地域の救急体制の確立を図った。
- 24時間院内保育事業の運営に係る経費を補助し、女性の医師や看護師等の出産・育児等と勤務の両立や離職防止・再就職支援に向けた取組を実施した。
- 回復期リハビリテーション病棟の運営に必要な医療従事者の確保に係る経費を補助し、仙南医療圏で未設置となっている回復期リハビリ病棟を設置し、運営に取り組むための人員を増員した。
- 人工透析治療機能の強化事業は、透析室の拡張及び透析装置等の整備に係る経費を補助し、増加傾向にある糖尿病性腎症の血液透析患者への対応強化を図った。
- 院内保育所整備事業は、院内保育所の施設整備等に係る経費を補助し、安定した看護師確保や女性医師及び看護師の離職防止、再就職支援へに向けた取組を実施した。
- 平日夜間の初期救急外来の開設事業は、開設・運営等に係る経費を補助し、救急医療体制の構築を図るとともに、二次・三次救急医療機関の負担軽減への取組を実施した。
- 医療人養成に対応する地域医療研修センター整備・運営事業は、東北大学に近接している既存施設を改修し、臨床技術のシミュレーショントレーニングを行うスキルズラボを整備・インストラクター配置に係る経費を補助し、県内在住医師・看護師・助産師等の医療技術の向上を図るための取組を実施した。
- 地域医療現場医師のネットワーク構築事業は、地域医療に従事している自治医科大学卒業医師等を対象に、地域医療に関する夏季セミナーを開催した。
- 女性医師支援事業は、女性医師の離職防止、出産・育児等と勤務を両立できるような環境整備を図るための委託事業を実施した。
- 看護師確保対策は、看護師の知識・技術向上を図るため、認定看護師課程に派遣している医療機関への補助等を実施した。
- 緊急看護師確保対策事業は、看護実習に係る経費等を補助し、看護教員及び看護師など円滑な派遣対策に向けた取組を実施した。
- 救急患者退院コーディネーター事業は、急入院患者の回復期・慢性期における退院転院を調整するコーディネーター配置に関する委託事業等を実施し、救急医療体制の課題解決に向けた取組を実施した。
- 周産期医療体制の充実・強化事業は、地域周産期母子支援センター機能強化のための施設整備に要する経費の補助、搬送先の調整・確保を行うコーディネーターの配置や救急隊員への講習に関する業務の委託、極低出生体重児支援センター運営に要する経費の補助を実施した。
- 在宅医療の推進事業は、設立準備委員会や研修会開催及び先進地視察に要する経費を補助し、高齢化の進展に伴う長期在宅療養患者の増加に対応するための取組を実施した。
- 全ての災害拠点病院において、平成25年度までにDMATを保有することになったことに伴い、新たにDMATを整備する災害拠点病院に対し、研修受講などの経費に係る補助を実施した。
- 宮城県立がんセンターに高度な放射線治療装置を整備することにより、二次医療圏に留まらず、がん治療における安全・安心そして治療効果の高い高度な放射線治療機会の提供を県全域に広く行うことが可能となる。
- 三次救急体制を構築するため、みやぎ県南中核病院に必要なヘリコプター場外着陸場の整備を実施した。
- 地域医療再生計画の円滑な事業推進を図るため、宮城県地域医療推進委員会を開催した。

(3)平成23年度(平成22年度からの繰越分)交付要綱第4の地域
(ア)事業実績報告

(単位:円)

| 地域医療再生計画 | 事業名(施設名等 (開設者名を含む)) | 平成25年度実施事業内容 | 平成25年度 事業予定額 (計画時) | 平成25年度事業費 | | |
|----------------------------------|-------------------------------|--|--------------------------|---------------|------------|---------------|
| | | | | 都道府県助成額 | 再委託費充当額 | 事業者負担額 |
| ①当該地域における事業 | | | | | | |
| 緊急的医療機能の回復 | 東医師会 県歯科医師会 県薬剤師会 | 東日本大震災により崩壊した医療施設(病院、医師診療用、歯科診療用、薬局)に対する修繕、復旧の支援を実施。 | 0 | 69,751,000 | 0 | 69,751,000 |
| 「地域医療研修センター」の整備・運営 | 東北大学病院 | 地域医療研修センターの設置機器を充実させ、院内および周辺の病院の研修医、初期・後期研修医、附属医、及び看護科・リハビリ科に開放し、院内の緊急医療の質の向上を図る。 | 400,000,000 | 52,080,859 | 0 | 29,584,038 |
| 「医療手技訓練センター」(仮称)兼手術訓練用動物飼育棟の整備 | 東北大学病院 | 東北大学医学部動物実験施設において、ブタを使用した各種手術トレーニングについて、その内容をまとめて施設し、院内の病院の研修医・初期、後期研修医、専門研修医に全国的に開放し、若手医師のキャリアアップ体制を確立する。 | 24,400,000 | 179,048,576 | 0 | 103,021,233 |
| 臨床研修医等宿泊施設の整備・運営 | 東北大学病院 | 臨床研修医及び各種研修施設利用者の宿泊施設整備。 | 131,800,000 | 77,510,427 | 0 | 74,247,987 |
| 「乳幼児在宅療育支援、人材育成センター」(仮称)の設置・運営 | 東北大学病院 | 慢性疾患を必要とする乳幼児の在宅療育支援を行うため、施設を新たに5床整備し、運営に必要な各分野の職員を配置。 | 114,400,000 | 105,128,219 | 0 | 106,128,219 |
| がん専門医・医療従事者の育成 | 東北大学病院 | がん専門医の研修等により、地域の中核的機関におけるがん医療従事者のスキルアップを図る。 | 68,100,000 | 67,693,004 | 0 | 67,693,004 |
| 地域医療受入病院に対する助成 | 宮城県 | 東北大学5、6年次の地域医療受入を受け入れる県内医療機関に対する助成(学生1人、1週当たり6万円) | 3,000,000 | 487,021 | 0 | 487,021 |
| 内科系研修医(地域医療支援研修医)の配置 | 東北大学病院 | 研修医を初めに配置し、中小病院等に派遣するとともに、東北大学と地域の連携関係の構築の取り組みを推進。 | 50,000,000 | 50,000,000 | 0 | 50,000,000 |
| 小児科等附属施設の設置 | 東北大学病院 | 小児科医(新生児科を含む)の養成と配置。 | 40,000,000 | 40,000,000 | 0 | 40,000,000 |
| 救急科専門医の養成 | 東北大学病院 | 救急科専門医の養成及び配置 ・県内の救急医療体制強化に係る研修 ・県内救急医療機関、へき地診療所、小児科病院の組合せでコースを組む。研修実施を実施。 | 30,000,000 | 29,950,000 | 0 | 29,950,000 |
| 地域医療(へき地)体験実習 | 宮城県 | 地域医療実習生向けに導入した大規模災害訓練の開催及びPALS(災害時救命)研修の開催 | 2,400,000 | 149,538 | 0 | 149,538 |
| 災害時研修医の養成及びPALS(災害時救命)研修の開催 | 宮城県 | 大規模災害発生時に導入した大規模災害訓練の開催及びPALS(災害時救命)研修の開催 | 3,000,000 | 2,239,383 | 0 | 2,239,383 |
| PTLS(外傷救急)研修の開催 | 宮城県 | 研修医を対象としたPTLS(外傷救急)研修を実施する。 | 1,500,000 | 1,401,000 | 0 | 1,401,000 |
| 災害時救命伝送システムの整備・運営 | 東北大学病院ほか | 災害時救命伝送システムの構築・運用を実施し、救急車と結び、心臓ペースメーカーの記録・処置をリアルタイムで伝送する。 | 27,400,000 | 20,927,991 | 0 | 20,927,991 |
| ICU(集中治療室)の整備 | 宮城県 | ICU(集中治療室)床部の運営に必要な機器や医薬品等の整備 | 5,000,000 | 2,489,000 | 0 | 2,489,000 |
| 救急医療の適正利用等に係る普及啓発 | 宮城県 | 救急車の適正利用等に関する普及啓発 | 1,500,000 | 645,810 | 0 | 645,810 |
| 宮城県立精神医療センター(仮称)の設置・運営 | (独)県立病院機構 | 県内における精神科救急医療の在り方を踏まえた宮城県立精神医療センターの設置・運営に係る基本構想の策定 | 0 | 10,859,500 | 0 | 10,000,000 |
| 災害時医療情報網の整備 | 宮城県 | 東北大学及び被災地復興支援センター(MDA)関係機関の連携強化及び災害時医療情報網の構築に向けたDMATが災害時に使用するMCA無線機を整備 | 0 | 1,507,275 | 0 | 1,507,275 |
| 災害時医療救済体制の整備 | 県医師会 | 宮城県医師会が中心となり、県内医療関係機関の協力体制を構築し、災害時における救急医療の確保を図る。 | 0 | 8,509,987 | 0 | 8,509,987 |
| 新・周産期情報ネットワークの構築 | 宮城県 | 妊婦の妊娠経過から出産までの情報を医療機関と市町村が共有するシステムを構築し、母体出生体重等については、その後の発達経過も引き継ぎフォローする仕組みを整備する。 | 9,852,000 | 26,503,000 | 0 | 26,503,000 |
| 周産期医療従事者等の育成と研修 | 宮城県 | ALSO(産科救急支援研修)、NICU(新生児重症治療)、胎児心エコー等の研修実施及び必要機材の整備を行う。 | 3,000,000 | 4,288,100 | 0 | 4,288,100 |
| 総合周産期母子医療センターへの臨床心臓救急支援 | 仙台市立病院 (独)県立病院機構 東北大学病院 | 低出生体重児の家族に対する支援(期間を限定し、補助金3/3に引き上げ) | 18,530,000 | 4,725,188 | 0 | 4,725,188 |
| 周産期医療データ収集・解析支援 | 東北大学病院 | 周産期医療データ収集・解析の促進に関する支援(期間を限定し、補助金3/3の実施する。) | 43,008,000 | 17,850,633 | 0 | 17,850,633 |
| 新生児科生体培養の研究 | 宮城県 | 「新生児科救急と東北地区を対象とした研究を推進する。」「研修用施設」の確保 | 1,238,000 | 792,881 | 102,000 | 890,881 |
| NICU長期入院児の在宅療育に向けたサポートシステム導入への支援 | 2施設×7医療圏 | NICU時長入院児児が在宅療育中に保護者の一助を支援する目的として地域の診療所にケアが行える体制を構築する。 | 23,408,000 | 3,191,000 | 0 | 3,191,000 |
| NICU長期入院児支援コーディネーター養成研修 | 宮城県 | ・新生児集中治療室に求められる技術や知識を有するコーディネーター養成 ・研修機関が連携し必要な知識や情報を共有する仕組みの構築 | 600,000 | 533,000 | 0 | 533,000 |
| こども救済安心コースの実施 | 県医師会 | 深夜帯(23:00～翌朝6:00)における、「こども夜間安心コース」の実施。 | 14,130,000 | 14,130,000 | 0 | 14,130,000 |
| NICU長期入院児の在宅療育に向けた医療的ケア研修の実施 | 宮城県 | 医療従事者や福祉事業所職員を対象に医療的ケアの実践研修を実施する。 | 1,200,000 | 1,196,288 | 0 | 1,196,288 |
| がん検診体制の強化 | 県がん協会 | 乳がん検診認知度を向上させる。 | 720,000 | 720,000 | 0 | 720,000 |
| 「宮城県医学賞」(仮称)の設置・運営 | 県医師会 | 宮城県の地域医療に貢献した功績を表彰する。運営。 | 10,000,000 | 7,970,679 | 0 | 6,993,333 |
| 在宅透析医療の推進 | 東北大学病院 | 在宅透析支援スタッフを育成し、透析施設及び在宅血液透析を推進。 | 50,800,000 | 82,799,120 | 0 | 82,799,120 |
| 在宅医療支援診療所の設置に関する検討、在宅医療を支える人材育成 | 仙台往診クリニック | 在宅医療支援診療所の設置、設置に関する検討、在宅医療を支える人材の育成等。 | 50,000,000 | 147,913,000 | 0 | 147,913,000 |
| みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の運営 | 一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会 | 医療・福祉情報ネットワークの構築と活用促進を目的とした協議会の運営 | 40,000,000 | 39,699,910 | 0 | 39,699,910 |
| 救急医療体制の強化 | 塩釜市立病院 | 救急医療に必要な機器及び施設を整備し、仙台市立病院との救急医療体制を強化。 | 1,140,209,000 | 219,981,500 | 0 | 109,990,750 |
| 遠隔支援業務、在宅診療業務の推進 | 塩釜市立病院 | 遠隔支援業務(MSW1人の配置)及び在宅診療に精通した医師1人(非常勤)を配置。 | 10,000,000 | 14,000,000 | 0 | 14,000,000 |
| 看護学生への奨学金の貸付 | 大崎市、登米市 | 看護学生を奨学金として奨学金の貸付。 | 32,000,000 | 23,400,000 | 0 | 23,400,000 |
| 大崎市市民病院新センターの完成 | 大崎市市民病院 | 造形用機器の整備 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 | 5,000,000 |
| 地域医療連携体制の構築 | 原平市 | 地域医療連携ツールの活用し、患者・家族との連携構築を行う医療用ウェアラブルを配置。 | 14,710,000 | 5,482,403 | 0 | 5,482,403 |
| 石巻市立病院の救急医療体制、重症治療体制、災害時医療体制の整備 | 石巻市立病院 | 救急医療体制、重症治療体制、災害時医療体制の構築及び医療士等に関する基本設計及び実施設計費用。 | 9,580,037,000 | 295,766,000 | 0 | 147,883,000 |
| 救急受入体制の強化 | 石巻市立病院 | 石巻市立病院救急医療センターの運営支援 | 103,820,000 | 41,318,000 | 20,658,000 | 20,658,000 |
| 人工透析施設強化 | 真塩病院 | 人工透析施設の増設及び機器整備により、腎臓病の透析患者受入人数を拡大。 | 285,900,000 | 405,510,000 | 0 | 202,755,000 |
| 医療機関の機能分化による在宅医療への移行推進 | 女川町 | 女川町地域医療センターの在宅医療推進に向けた整備 | 1,000,000 | 1,999,935 | 0 | 1,999,935 |
| 救急医療従事者の研修(心肺バイパス・トーン・エコー)の実施 | 気仙沼市立病院 | ACLS(二次救命処置)研修、BLS(一次救命処置)、PALS(小児二次救命処置)、JATRC(外傷初期対応)、JALS(脳卒中初期対応)等各種トーン・エコー研修を開催し、受講料を助成。 | 3,060,000 | 1,201,140 | 0 | 1,201,140 |
| 気仙沼市立病院診療設備(手術室、重症治療室)の強化 | 気仙沼市立病院 | 手術科医師の派遣等に関する経費の補助。 | 28,300,000 | 19,986,085 | 0 | 19,986,085 |
| がんリハビリ強化の推進 | 気仙沼市立病院 | がんリハビリ強化の推進。 | 1,028,000 | 1,530,000 | 0 | 1,028,000 |
| 医学士、看護学生奨学金の貸付 | 気仙沼市、南三陸町 | 医学士、看護学生に対する奨学金の貸付 | 12,600,000 | 17,500,000 | 0 | 17,500,000 |
| 高次脳機能障害支援体制の強化 | 宮城県 | ・県内における高次脳機能障害の支援。 ・地域拠点病院の指定、研修会の開催、高次脳機能障害者地域連携ネットワークの構築。 | 3,612,000 | 305,216 | 0 | 305,216 |
| 合計 | | | 12,389,882,000 | 2,111,845,404 | 20,780,000 | 1,521,133,182 |

(イ) 地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- 医療機関等復旧支援事業は、東日本大震災による被害からの医療機能回復を図るため、病院・診療所4件、歯科診療所6件、薬局1件への(施設・設備等)補助を実施した。
- 「地域医療研修センター」の整備・運営事業は、1,112件・延べ13,294名を超える医療職者や学生、地域住民がトレーニングに参加し、シナリオベースの救急対応、産科分娩対応、中心静脈カテーテル穿刺挿入手技、吸引・吸入手技など緊急性や機敏性の高い技術手法のトレーニングを個人またはチーム医療として取り組んだ。
- 「医療手技訓練センター」(仮称)兼手術訓練用動物飼育棟の整備事業として、初期研修医トレーニングコースを年26回、東北大学動物実験セミナーなどの講演会を3回開催した。
- 臨床研修医等宿泊施設の整備・運営事業は、宮城県医師育成機構の臨床教育・研修体制整備委員会の人員強化を図り、被災地の医師ニーズを把握するため、被災地の医療機関と意見交換を行うとともに、アンケート調査等を実施し、被災後の医師ニーズを把握した。
- 「乳幼児在宅移行支援・人材育成センター」(仮称)の設置・運営事業について、平成25年度より在宅ケア支援事業を開始。県内二次施設である気仙沼市立病院・大崎市民病院・石巻赤十字病院・県南中核病院・仙台市立病院・東北公済病院・仙台医療センターの7箇所に入れた診療チームを育成し、他施設との連携を促進するしていく計画となっている。
- がん専門医・医療従事者の育成事業について、東北大学が育成した人的資源を他の医療機関で流動的に活用することで専門医療人の偏在を改善し、がん診療拠点病院の空白医療圏を解消する取組を実施した。
- 地域医療実習受入病院に対する助成事業については、東北大学医学部5～6年生対象の履修科目「地域医療実習」について、医学生の受入れに伴い病院が負担した経費について助成することで、県内病院における実習促進を図った。
- 東北大学に内科寄附講座(地域医療支援寄附講座)を設置し、医師を新規雇用し、中小規模病院へ派遣するとともに、東北大学と地域の支援病院の看護職のネットワーク構築のための取組を実施。
- 東北大学に小児科寄附講座を設置し、小児科医(新生児科医を含む)の養成と配置への取組を実施。
- 救急科専門医の養成について、東北大学に救急科専門医の養成及び配置、県内の救急医療体制強化に係る研究についての委託を実施。
- 全国の医学生を対象に多岐にわたる参加者を募り、へき地医療拠点病院における地域医療の取組を学習し、またへき地診療所の若手医師との意見交換を行い、将来のへき地医療の担い手の育成を図った。なお、全国の医学部から4人の参加者あり。(訪問先:公立黒川病院、七ヶ宿町国民健康保険診療所)
- 規模別寄附訓練の実施及びBDLS(災害医学教育プログラム)コース等の研修事業について、大規模災害発生時に備えた大規模災害訓練の実施及びBDLS(災害時医療基礎研修)コース等の研修会を開催し、救急・災害医療体制強化に向けた取組を実施した。
- PTLS(外傷蘇生)研修の看護師コースの実践事業について、看護師を対象としたPTLS(外傷蘇生)研修を開催し、救急・災害医療体制の強化に向けた取組を実施した。
- 12誘導心電図伝送システムの整備・運営事業について、心筋梗塞対応時の診断・処置指示体制を構築するための取組を実施した。
- OSCU(広域医療搬送拠点)本部の運営に必要な機器や医薬品等の整備した。
- 宮城県立精神医療センター整備に係る基本構想の策定事業について、全県における精神科救急体制のあり方を踏まえた整備基本構想の策定のための委託事業を実施した。
- 新・周産期情報ネットワークの構築について、仙台産科セミアプローチシステムを基本に、妊娠の届出から出産後までの情報を各分娩施設や健診施設が入力することで、検査機関、行政等への情報共有が可能となる新周産期情報ネットワークシステムの構築を実施。
- 周産期医療従事者等の育成と再教育について、分娩取扱、産科救急の演技トレーニングプログラム(ALSO)、新生児蘇生法トレーニングプログラム(NCPR)、胎児心エコー実技講習等、周産期医療従事者の育成と再教育研修を宮城県立こども病院に委託し、長期的な視野に立った人材育成を行い、地域周産期医療の維持と質的向上を図った。
- 総合周産期母子医療センター等への臨床心理士配置支援について、低出生体重児の家族に対する支援(期間を限定し、補助率を3/3に引き上げ)を実施した。
- 周産期医療データ収集職員配置支援に要する経費について、新たに救急隊と東北地区を対象とした研修や研修用機材の補修を実施した。
- NICU長期入院児の在宅療養時におけるショートステイ受入機関への支援を実施し、保護者の一時支援を目的とする体制整備を実施した。
- こども夜間安心コールの深夜対応事業は、子育て中の保護者の不安軽減や安心して子育てができる環境づくりを推進し、東日本大震災により小児診療所を含む医療機関が被災して夜間における1次救急体制の回復が遅れている状況を踏まえ、こども夜間安心コール深夜対応への補助を実施した。
- NICU長期入院児の在宅移行円滑化に向け、医療従事者や福祉事業所職員を対象に医療的ケア研修会の実施した。
- がん検診体制の強化事業は、誘導指導研修を実施し、乳がん検診読影認定医を養成した。
- 「宮城県医学会」(仮称)の設置・運営事業について、宮城県における地域医療全般の諸問題を共に考える機会として学食形式で討論し、地域における医療問題を他業種間で共有し、地域医療の重要性が認識され、そこに従事する医療関係者が増加する取組を実施した。(参加者総数348名(医師104名、歯科医師33名、薬剤師56名、看護師54名、講師23名、行政16名、その他(事務経等)62名))
- 在宅透析医療の推進事業は、在宅透析医療に乏しい宮城県に腹膜透析及び在宅血液透析を推進することで、宮城県内に4拠点の協力病院(国保川崎病院・松島病院・気仙沼市立病院・国立病院機構宮城病院)ができ、震災や過雨地に強い医療を確立した。
- 在宅療養支援診療所の設置に関する検討、在宅医療を支える人材育成事業について、被災地域に近接した地域に往診専門の在宅療養支援診療所を設置し、被災地域における在宅医療の展開を可能とするための取組を実施した。
- みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の運営事業は、医療福祉情報ネットワークシステムの整備及び医療提供体制の構築を推進するため、平成23年11月15日に設立した「みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会」への運営資金補助を実施した。
- 救急医療体制の強化事業は、東北薬科大学病院、坂合病院に対して施設・設備整備等に要する経費を補助し、仙台医療機関における二次・三次の救急医療体制の強化に向けた取組を実施した。
- 週院支援業務、在宅診療業務の推進事業は、在宅医療に精通した医師1人(非常勤)及びMSW1人の配置に要する経費を補助し、塩竈市立病院退院後の在宅療養の円滑化に向けた取組を実施した。
- 看護学生への奨学金の貸付事業は、大崎市及び釜米市において、看護師を志す学生を対象とした奨学金の貸付に対する経費の補助を実施した。
- 地域医療連携体制の機能拡充事業は、地域連携クリティカルパスを活用して患者・家族との連携調整を行うMSWの配置に要する経費を補助し、栗原市栗原中央病院の地域医療連携体制の強化に向けた取組を実施した。
- 石巻赤十字病院の救急医療体制、重症治療体制、災害医療関連施設の整備事業は、救急医療体制、重症治療体制、災害医療関連施設の建築及び建築工事に係る経費を補助した。(H25年度は、基本設計及び実施設計を実施、10月より工事着工。)
- 石巻赤十字病院救命救急センターの運営支援を行い、救急受入体制強化に向けた取組を実施した。
- 真壁病院の人工透析室の新築及び機器整備に係る経費を補助し、石巻医療圏の透析患者受入人数を拡大するための取組を実施した。
- 在宅患者の病状管理のための医療機器の整備を行い、医療機関の機能分化により、在宅医療への移行推進を図った。
- 気仙沼市立病院の救急医療従事者の研修(ACLS)および「トレーニング」コース受講に対し、その費用を助成し、救急医療体制強化への取組を実施した。
- 気仙沼市立病院のDMAT(災害派遣医療チーム)の養成研修の受講に対し、その費用等を助成し、災害救急医療体制強化への取組を実施した。
- 気仙沼市立病院診療機能(手術部門、高度医療)の強化事業は、麻酔研修会等を開催し、麻酔科医招聘に要する経費の補助を実施した。
- がんリハビリ療法士の養成事業は、気仙沼医療圏におけるがんリハビリ分野の医療提供体制を推進するため、気仙沼市立病院が行うがん医療に携わるリハビリ療法士養成のために必要な経費の補助を実施した。
- 医学生・看護学生への奨学金の貸付事業は、気仙沼市及び南三陸町において、医師・看護師を志す学生を対象とした奨学金の貸付に対する経費の補助を実施した。
- 高次脳機能障害支援体制の強化のため、県全域における地域拠点病院の整備等に向けた取組を実施した。

(3)平成24年度(第一次修正予算分)交付要綱第4の地域
(ア)事業実績報告

(単位:円)

| 地域医療再生計画 | 事業者名(施設名等 (開設者名を含む)) | 平成25年度実施事業内容 | 平成25年度 事業予定額 (計画時) | 平成25年度事業費 | | |
|---|-------------------------|--|--------------------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | 都道府県助成額 | 再生基金充当額 | 事業者負担額 |
| ①当該地域における事業 | | | | | | |
| 災害に備えた自家発電 装置等の整備 | 赤石病院 | 東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害への備えとして赤石病院に非常用自家発電機を整備 | 3,550,000 | 3,727,500 | 0 | 2,543,500 |
| 災害に備えた自家発電 装置等の整備 | 塩沼市 | 東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害への備えとして塩沼市立病院に非常用自家発電機を整備 | 124,071,000 | 8,190,000 | 0 | 2,947,000 |
| 災害に備えた自家発電 装置等の整備 | 拓桃医療療育センター | 東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害への備えとして免震構造等を整備するもの。(※こども病院と併設し、小児医療体制を強化する。) | 8,476,324,000 | 684,548,000 | 457,042,000 | 144,228,000 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | やまと在宅診療所登米 | 登米市民病院・訪問看護ステーション・訪問薬局やその在宅サービスと連携を進めて登米市の地域包括ケアを推進 | 18,077,000 | 12,875,741 | 0 | 465,741 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | みやぎ在宅支援助力ネット | 在宅緩和ケア推進のためのネットワーク等形成し、がん診療拠点病院で在宅移行推進のモデルを推進するほか、緩和ケアコーディネーターを配置し、緩和ケアの現場に派遣する。 | 6,000,000 | 4,463,215 | 0 | 0 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | 栗原市 | 介護支援専門員を若得病院の院内に配置し、介護事業者と連携しながら、在宅医療と介護事業の連携強化を図る。 | 3,946,000 | 3,328,860 | 0 | 0 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | 石巻市 | 休診中の石巻市立病院の仮診療所として、東北最大の仮設住宅(約1800戸)である開成地区に開設している仮設診療所において、365日24時間体制での在宅医療の提供、地域包括ケアに向けた基盤作りを図る。 | 30,000,000 | 21,885,086 | 0 | 0 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | 気仙沼市 | 気仙沼市立本宮病院において、地域内連携を強化するために訪問看護師の増員を図りつつ、在宅医療連携を促進するためのプラットフォーム構築を共有システムを活用する。 | 12,760,000 | 8,713,000 | 0 | 0 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | 社団法人宮城県歯科医師会 | 平成25年9月「みやぎ県南中核病院救命救急センター」建物内に「みやぎ訪問歯科・救急ステーション」を設置し、地域連携体制の整備を図る。 | 14,750,000 | 9,083,345 | 0 | 0 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | 仙台往診クリニック | 在宅医療に係る医療従事者及び地域住民への教育と普及啓発、多職種連携推進のためのシステム構築、合同研修会の開催ほか、施設介護員、訪問看護員等の吸引等行為促進事業(従事者養成研修の開催)、看取り促進医療教育を実施。 | 30,000,000 | 28,312,000 | 0 | 0 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | 塩沼市 | 塩沼市立病院で実施している在宅医療サービスの患者さまを共通のプラットフォームで管理し、退院の際の関係機関との情報の一元化を図るほか、他病院、施設との地域連携を行うための看護師(非常勤)1名及び訪問看護士(非常勤)1名を配置する。 | 7,500,000 | 7,500,000 | 0 | 0 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | 東北大学病院 | 一般小児科勤務医や開業医を対象とした小児在宅医療に関する研修会を開催(人工呼吸器、在宅酸素療法等の医療ケアについて実践講習等の講義等を実施)。 | 8,000,000 | 5,679,423 | 0 | 0 |
| 介護と連携した在宅医療 体制の整備 | 宮城県 | 介護、医療等が連携した地域包括ケアシステムの構築に向け、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、在宅療養支援診療所等の活動状況等について、調査・分析し、連携構築に向けた共通課題の抽出と、各地域での展開方法を含む対応策について検討を行う。 | 20,000,000 | 19,024,989 | 0 | 0 |
| 救急医療体制の強化 | 栗原市 | 救急医療体制の強化を図るべく設備整備。 | 96,600,000 | 96,390,000 | 0 | 0 |
| 災害医療体制の強化 | 東北大学病院ほか | 災害時における通信環境整備が中心で、東日本大震災の経験を踏まえ、被災地・宮城県のスマートフォンやタブレット等のデジタルデバイスを活用したモバイルレスポンスシステムを開発。 | 30,000,000 | 25,829,298 | 0 | 0 |
| 災害医療コーディネーター・災害医療従事者の研修、DMAT訓練(1.5日研修)の実施 | 宮城県 | 東日本大震災の経験を踏まえ、災害医療コーディネーター及び災害医療従事者研修会の開催やDMAT訓練(1.5日研修)を実施 | 3,500,000 | 3,406,600 | 0 | 0 |
| 医療従事者学修資金貸付 | 南三陸町 | 医療提供体制を確保するために不足する薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師等医師等の職種を対象とした学修資金貸付など導入体制を強化する。 | 600,000 | 600,000 | 0 | 0 |
| 合計 | | | 8,885,878,000 | 923,557,057 | 457,042,000 | 149,282,241 |

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害への備えとして赤石病院に非常用自家発電機を整備に要する経費についての支援を実施した。 ○東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害への備えとして塩沼市立病院に非常用自家発電機を整備に要する経費についての支援を実施した。(一部未了により繰越実施) ○東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害への備えとして免震構造等の整備(※こども病院と併設し、小児医療体制を強化する。)-に要する経費についての支援を実施した。 ○介護と連携した在宅医療体制の整備に対する支援を実施。(やまと在宅診療所登米:多職種連携の推進のためのシステム構築等) ○介護と連携した在宅医療体制の整備に対する支援を実施。(みやぎ在宅支援助力ネット:在宅緩和ケア推進のためのネットワーク形成等) ○介護と連携した在宅医療体制の整備に対する支援を実施。(栗原市立若得病院:在宅医療と介護事業の連携強化) ○介護と連携した在宅医療体制の整備に対する支援を実施。(石巻市立病院開成仮診療所:365日24時間体制での在宅医療、地域包括ケア体制構築) ○介護と連携した在宅医療体制の整備に対する支援を実施。(気仙沼市立本宮病院:在宅医療と介護事業の連携強化(情報共有)) ○介護と連携した在宅医療体制の整備に対する支援を実施。(宮城県歯科医師会:県南地域における急性期病院と在宅診療の連携体制構築) ○介護と連携した在宅医療体制の整備に対する支援を実施。(仙台往診クリニック:在宅医療に係る医療従事者等への普及啓発、看取り促進教育等) ○介護と連携した在宅医療体制の整備に対する支援を実施。(塩沼市立病院:地域包括ケア体制構築のため、他医療機関との連携強化) ○介護と連携した在宅医療体制の整備に対する支援を実施。(東北大学:小児在宅医療に係る普及啓発) ○全体的な地域包括ケア体制構築に向け、関係機関の活動状況の調査・分析を実施した。 ○救急・災害医療の再生のための取組に対する支援を実施。(栗原市:救急医療で使用するMRI装置、手術台について最新機器を導入し、二次救急医療体制の強化を図る。) ○救急・災害医療の再生のための取組に対する支援を実施。(東北大学:災害時に避難所アセスメントデータを収集・解析するモバイルアセスメントシステムの開発。) ○宮城県沖において発生した直下型地震に伴う大規模災害を想定し、東北ブロック各県DMATと関係機関との緊密な連携により被災地における緊急治療、病院支援、広域医療搬送等の実践的訓練を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○学修資金貸付制度の充実による医療従事者の確保の取組に対する支援を実施。(南三陸町:診療放射線技師の免許取得を目指す学生に対する学修資金貸付) |
|--|---|

4 基金事業実施状況（宮城県医療の復興計画）

(1)平成23年度交付要綱第4の地域

(ア)事業実績報告

(単位:円)

| 医療の復興計画 | 事業者名(施設名等 (開設者名を含む)) | 平成25年度実施事業内容 | 平成25年度 事業予定額 (計画時) | 平成25年度事業費 | | |
|---------------------|-------------------------|---|--------------------------|---------------|---------|---------------|
| | | | | 都道府県助成額 | 再生基金充当額 | 事業者負担額 |
| ①当該地域における事業 | | | | | | |
| 公立志津川病院の新築 | 南三陸町 | 東日本大震災で全壊した公立志津川病院を新築する。 | 3,000,000,000 | 62,277,000 | 0 | 62,277,000 |
| 南三陸町保健センターの新築 | 南三陸町 | 東日本大震災で全壊した南三陸町志津川保健センターを新築する。 | 0 | 42,806,500 | 0 | 42,574,000 |
| 石巻市立病院の新築 | 石巻市 | 東日本大震災で全壊した石巻市立病院を新築する。 | 4,000,000,000 | 47,420,000 | 0 | 47,420,000 |
| 石巻港湾病院の移転新築 | 石巻港湾病院 | 東日本大震災で津波の浸水被害を受けた石巻港湾病院について、高台への移転を機に、新築する。 | 57,500,000 | 717,185,000 | 0 | 358,582,500 |
| 特定機能病院の機能強化 | 東北大学病院 | 特定機能病院である東北大学病院において、老朽化している中央診療棟を新築し、機能向上を図る。 | 1,379,750,000 | 186,460,000 | 0 | 11,110,000 |
| 名取市休日夜間急患センターの整備 | 名取市 | 施設の狭小が問題とされている名取市休日夜間急患センターを拡充整備する。 | 11,200,000 | 80,071,000 | 0 | 6,300,000 |
| 災害拠点病院の機能強化 | 東北薬科大学病院 | 東北薬科大学病院の非常用自家発電機を拡充整備し、大規模災害にも対応可能な環境を整備する。 | 111,000,000 | 299,250,000 | | 111,000,000 |
| 保健センターの新築、設備整備 | 塩竈市 | 塩竈市保健センターを災害時の医療救護活動拠点として整備する。 | 74,250,000 | 32,550,000 | 0 | 32,550,000 |
| 眼科支援車両の導入 | 宮城県眼科医会 | 被災直後に米国から空輸され買収を受けたMissionVision Vanと同様の車両及び車両に搭載する医療機器を整備する。 | 0 | 11,975,980 | 0 | 11,907,829 |
| 医療人材の確保(流出防止、招へい含む) | 宮城県 | 被災地における医療復興を早期に実現するため、医師・看護師等の医療従事者を雇用する医療機関に対し助成を行う。また、医療機関再建に向けた人材確保制度として、医療従事者招へい、確保に対する助成制度を創設し、震災により壊滅的な被害を受けた病院等の医療スタッフの確保(流出防止、招へい)に努める。 | 500,000,000 | 1,019,987,762 | 0 | 813,501,175 |
| 地域医療連携支援センターの設置・運営 | 宮城県医師会 | 県全域において、各種分野におけるICT技術を活用した医療連携体制を構築するための活動の拠点となる施設を整備する。 | 0 | 39,690,000 | 0 | 39,690,000 |
| 医療福祉情報ネットワークシステムの構築 | 一般社団法人みやぎ医療福祉情報システム協議会 | ICT技術を活用し、被害が甚大であった気仙沼、石巻、仙台医療圏を中心に、各種分野における医療連携が可能なシステムを構築する。ただし、遠隔医療(テレビ/パソコン、テレラジオ)によるシステムの整備など、被災地の医療機関が内陸部の基幹病院(東北大学病院、仙台医療センター等)との連携が必要な事業については、当該二次医療圏を超えた範囲でシステムの整備を行う。 | 850,000,000 | 605,785,005 | 0 | 605,785,005 |
| 合計 | | | 6,983,700,000 | 3,040,384,747 | 0 | 2,142,707,509 |

(イ)医療の復興計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- 気仙沼市立病院の移転新築に係る経費の補助を実施した。(H24年度は、基本設計・実施設計分)
- 石巻市立病院の新築に係る経費の補助を実施した。(H24年度は、基本設計・実施設計・地質調査委託分)
- 仙台市立病院の機能強化に係る経費の補助を実施した。(H24年度は、免震装置分)
- 塩竈市保健センターの設備整備に係る経費を補助し、医療救護活動拠点整備の取組を実施した。
- 眼科支援車両の導入等に係る経費の補助を実施した。(H24年度は、車両導入・医療機器整備・仮設住宅の検診)
- 看護師など医療従事者が病院の新機能となる分野に関する実務研修等を受けた場合や地域医療が回復するまでの業務支援を実施した場合の経費及び県外からの派遣医師受入経費に対する支援に対する補助を実施し、常勤医師の負担軽減と外来機能を維持し、東日本大震災後の患者の増加に対応した診療体制を確保するための取組を実施した。
- 震災対応医師確保対策として、医学生への修学資金貸付制度を創設する。(※大学卒業後、県が指定する医療機関で一定期間勤務した場合には償還を免除する制度とすることにより、医師確保が困難な病院への医師配置を行う。)貸付総人数は、一般枠で10人×8=80人、東北大学枠で5人×8=40人となる予定。合計120人が、卒業後、貸付期間の2倍の期間内に、県内医療機関で地域医療に従事することとなる。このことにより、平成30年度から平成40年度までの11年間において平均45人、平成41～44年度までの4年間で平均32人の医師が確保される見込み。

(2)平成24年度交付要綱第4の地域
(ア)事業実績報告

(単位:円)

| 医療の復興計画 | 事業者名(施設名等 (開設者名を含む)) | 平成25年度実施事業内容 | 平成25年度 事業予定額 (計画時) | 平成25年度事業費 | | | | |
|---------------------|-------------------------|--|--------------------------|----------------|-------------|---------------|----------------|--|
| | | | | 都道府県助成額 | 再生基金充当額 | 事業者負担額 | | |
| ①当該地域における事業 | | | | | | | | |
| 建設コスト高騰対策 | 東北大学病院 | 東日本大震災の影響に伴う労務費・建設資材の高騰により、東北大学病院の施設整備工事費(医療手技訓練センター)が大幅に膨らみ、事業進捗に影響を及ぼすことから建設コスト高騰分の支援を実施。 | 238,061,000 | 238,061,000 | 100,000,000 | 38,061,000 | 100,000,000 | |
| 建設コスト高騰対策 | 大崎市民病院 | 東日本大震災の影響に伴う労務費・建設資材の高騰により、大崎市民病院の施設整備工事費(本館及び本院エネルギー棟)が大幅に膨らみ、事業進捗に影響を及ぼすことから建設コスト高騰分の支援を実施。 | 22,697,952,000 | 22,697,952,000 | 0 | 2,018,425,000 | 20,679,527,000 | |
| 建設コスト高騰対策 | 拓桃医療養育センター | 東日本大震災の影響に伴う労務費・建設資材の高騰により、拓桃医療養育センターの施設整備工事費が大幅に膨らみ、事業進捗に影響を及ぼすことから建設コスト高騰分の支援を実施。 | 71,105,000 | 664,548,000 | 466,342,000 | 53,980,000 | 144,226,000 | |
| 被災医療機関等の復旧・復興 | 県医師会 県歯科医師会 県薬剤師会 | 東日本大震災により被災した民間医療機関への復旧支援、H23緊急的医療機能回復分補助金を交付してもなお支援が必要な民間医療機関への追加支援を実施。 | 3,469,748,000 | 5,152,325,261 | 0 | 2,800,164,139 | 2,352,161,122 | |
| 被災地における医療人材の確保 | | 震災対応看護確保対策としてH25～実施予定の沿岸部勤務を前提とした修学資金の貸付枠を拡充(100人→200人)するもの。また、沿岸部病院から実習指導者講習会等に参加するための支援を実施 | 70,000,000 | 13,076,000 | 0 | 13,076,000 | 0 | |
| 医学生修学資金の貸付 | 宮城県医師育成機構 | 地域医療復興計画に計上した医学生への修学資金貸付(一般枠10人・東北大枠5人:宮城県医師育成機構に基金化し実施。)について、一般枠(10人→30人)及び東北大枠(H25～震災対応で10人増)を拡充 | 2,411,600,000 | 2,411,600,000 | 0 | 2,411,600,000 | 0 | |
| 医療福祉情報ネットワークシステムの構築 | 一畑社団法人みやぎ医療福祉情報システム協議会 | ICTを活用した地域医療連携システム構築への支援を拡充するもの。(県内医療機関への各種分野における医療連携が可能なシステム導入を県全域に普及させるため、参画医療機関の初期導入経費等の支援を行うもの。) | 350,000,000 | 110,643,357 | 0 | 110,643,357 | 0 | |
| 合計 | | | 29,308,466,000 | 31,288,205,618 | 566,342,000 | 7,445,949,496 | 23,275,914,122 | |

(イ)医療の復興計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○震災後の医療機関の復旧等に係る建設コストの高騰分に対して支援を実施。(東北大学病院:先端医療技術トレーニングセンター新築) ○震災後の医療機関の復旧等に係る建設コストの高騰分に対して支援を実施。(大崎市:大崎市民病院新築) ○震災後の医療機関の復旧等に係る建設コストの高騰分に対して支援を実施。(拓桃医療養育センター) ○東日本大震災により被災した民間医療機関への復旧支援。H23緊急的医療機能回復分補助金を交付してもなお支援が必要な民間医療機関への追加支援を実施。(病院・医科診療所 延べ64件、歯科診療所 延べ111件、薬局 延べ51件) ○看護師確保対策として、看護師の知識・技術向上のため、認定看護師過程に派遣している医療機関を支援したほか、沿岸部の就業を短期的・集中的に誘導するため、平成27年度までに卒業予定の県内看護学生を対象に修学資金を貸付した。(保健師・助産師・看護師 6人、准看護師 20人) ○震災対応医師確保対策として創設した医学生への修学資金貸付制度の貸付原資の補助を実施。 ○システム構築の具体化に伴う現地サポート体制の強化策に対し支援を実施。 |
|---|

5 添付資料

- (1) 当該年度の歳入歳出決算書抄本
- (2) 目標達成シート(別紙様式3)
- (3) 目標達成シート(医療の復興計画)(別紙様式4)